



難波の梅小だより

学校通信NO. 11
平成28年12月16日
難波の梅小学校

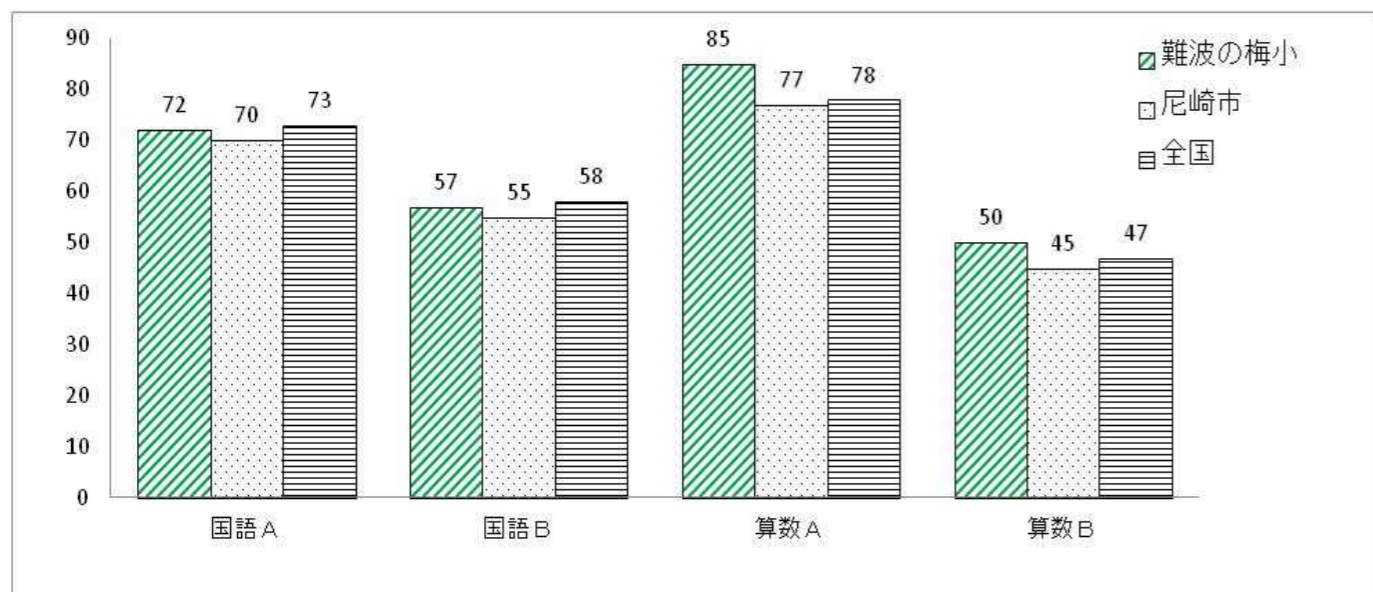
学力調査臨時号 難波の梅小ホームページアドレス
<http://www.ama-net.ed.jp/school/E04/index.html>

全国学力・学習状況調査（平成28年度実施）の結果について

平成28年4月に実施しました「全国学力・学習状況調査」の結果の概況がまとまりましたので、保護者の皆様にお知らせいたします。「全国学力・学習状況調査」とは小学校6年生を対象として、学習の定着度や学習意識、家庭での学習実態を客観的に把握し、今後の学校の指導体制や指導方法の工夫改善、家庭学習の進め方などに生かすために実施されています。結果は、実施学年の限られた教科や生活実態で、学校全体の概要を表すものではありません。しかし、学校としては、結果を真摯に受け止め、基礎学力の定着や基本的な生活習慣の確立をはかるために、これからも具体的な検討を進めてまいりたいと思います。

I 6年生の学力調査（5年生の内容）

1 結果



2 結果の概要

- 国語A 平均点は72点で、全国平均より1点下まわっています。市内平均には、2点上まわっています。
- 国語B 平均点は57点で、全国平均より1点下まわっています。市内平均には、2点上まわっています。
- 算数A 平均点は85点で、全国平均より7点上まわっています。市内平均には、8点上まわっています。
- 算数B 平均点は50点で、全国平均より3点上まわっています。市内平均には、5点上まわっています。

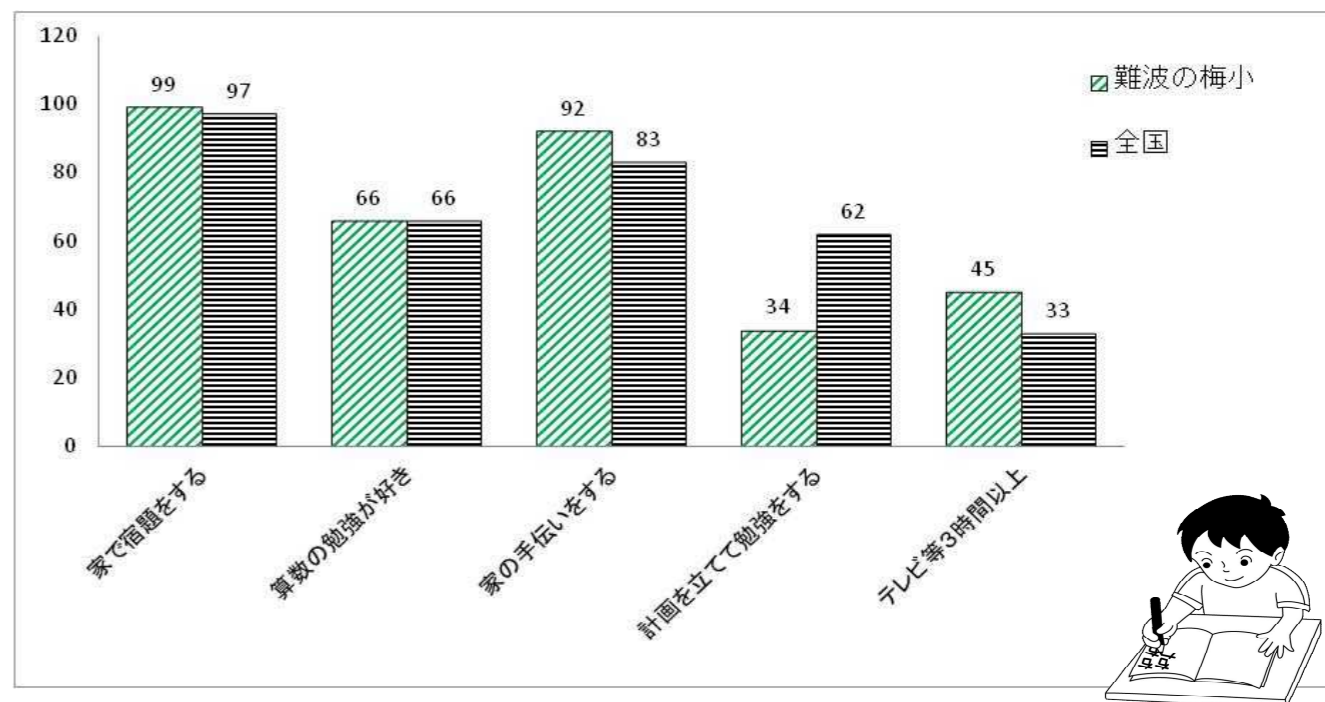
3 分析と課題

A問題は基礎・基本を見るテスト、B問題はそれらを活用する力を見るテストです。今年度は算数AB共に全国平均も市内平均も上まわっています。特に、基礎・基本をみるA問題は全国平均より7点上まわっ

ています。この得点を全国の都道府県別平均点に当てはめると、上位の秋田県や福井県よりも高い得点となっています。B問題についても全国平均を3点も上まわっていますので、全国以上の学力がついていると言えます。5年生から少人数授業や同室複数指導を続けてきたことや朝の学習タイムや放課後学習を続けてきた成果だと考えています。引き続き、この力を伸ばしていきたいと思ひます。

国語Aも国語Bも全国とは1点の差ですので、ほぼ全国平均並みの学力がついてきていると言えます。朝の学習タイムや家庭学習の見直しを進めていきたいと思ひます。また、放課後学習も引き続き、毎週木曜日実施し、補充学習が必要な子ども、家庭学習や自主学習ができにくい子どもについての学習の場を設けるようにしていきます。

II 学校や家庭での子どもの様子や意識について



このグラフは、学校生活や家庭生活での学習の様子や子どもの意識を表したものです。「家で学習をする」の項目では本校は99%の子が家で宿題をすると答えています。これは宿題に対する子どもの意識の高さとなんとしても宿題をさせるという先生方の取り組みと家庭の協力があるものと考えています。「算数の勉強が好き」の項目では、66%と全体の3分の2の子どもたちが「好き」と答えています。この数字は学力調査の算数の点数の高さの裏付けをしていると考えられます。また、「家で手伝いをする」の項目ではどちらかといえば当てはまると答えた子どもも含めると92%の子どもたちが家で手伝いをするを答えています。ここから算数の勉強が好きで、宿題は家できちんとやり、家でのお手伝いもしっかりするととてもまじめな子どもの姿が浮かび上がってきます。今後もこのまじめさをさらに伸ばしていきたいと考えています。

「計画を立てて勉強をする」と答えた子どもが34%と全国のほぼ半数という数字になっています。宿題はまじめにするが、自分で計画を立てて学習することを苦手とするようです。来年から中学生になりますので、中学校に向けて自分で計画を立てて学習することにも取り組んでいきたいと思ひます。また、「テレビやビデオ・DVDを見る時間が3時間以上」と答える子どもが45%と全体の半数に近い子どもが3時間以上と答えています。家で宿題が終わると、テレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたりしている子どもが多くいると考えられます。学校の方では自主学習の取り組みをさらに進めて参りますので、ご家庭の方でもご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

おわりに

今後も、難波の梅小学校は全職員が一丸となって、児童のよりよい成長を願ひ、指導に取り組んでまいります。そのためには、保護者の皆様のご協力のもとより、地域の皆様のご協力が必要となります。今後とも、よろしくご協力ご支援くださいますようお願いいたします。